

げんぼく 原木しいたけ物語

たん じょう たび だ
～ 誕生から旅立ちまで ～

ひとオモ

げん ぼく さい ばい きん じょう さい ばい 原木栽培と菌床栽培のちがい

しいたけの栽培方法には、大きく分けて、菌床栽培と原木栽培の二つがあります。原木しいたけ栽培で農薬が使われることはなく、ほぼ100%無農薬で育つ食材です。原木栽培は、ナラやクヌギなどの原木の養分をもとに自然の中で育てる古来からの安心安全な栽培方法なんだよ。

3

いえ (げん ぼく) のなかで
すくすく育ちます。



風通しがよくなるよう
並べかえたり、すーっと
お世話をしてくれるんだ。

ボクらが木の養分をたくさん食べて大きく育つように、
生産者の人たちは、木を回転させたり、



はじめまして！

ボクは、かごしまの
自然で生まれ育った
安心、安全の原木栽培
しいたけです。

原木しいたけ

げん ぼく
原木
しいたけくん

スタート!!

1

しぜん の き を つか
家(原木)を作ります。



しばらく乾燥させたものが、
ほだ木(原木)と呼ばれる
しいたけが育つ家なんだ。



山に生える
クヌギやナラの木を切りだし、
1メートルに切りそろえて



2

ボクたちの家は
栄養たっぷりなんだよ。

これから、およそ1年半(約2年間)、
ボクらは木の中の養分を食べて
大きくなるんだよ。



山桜が咲くころになると、
生産者の人たちは原木に穴をあけて、
しいたけ菌(種駒)を植える。

